



子ども療育センター児童・思春期病棟（県内初）の整備について

児童・思春期患者の現状

国内の状況



児童・思春期患者(適応障害、発達障害、摂食障害など)は、全国的に増加傾向

愛媛県の現状



児童・思春期患者は本県も増加しており、愛媛大学医学部附属病院子どものこころセンターの受診児童(患者)は6年前の約2倍

愛媛県の課題



本県には児童・思春期専門の病棟がないことから、児童・思春期患者は県内の精神科病院や県外の専門病院に入院

参考：愛媛大学医学部附属病院子どものこころセンターの取組み

- 児童・思春期専門外来を週1回実施
- 外来患者数の増加に伴い、入院加療が必要な患者数も増加(入院は附属病院の精神科病床で対応、入院待機児童あり)
- 新規外来予約は2～3ヶ月待ち
- 摂食障害患者などの入院先の確保に苦慮

【2017～2021の入院状況(患者は16歳未満)】※愛媛大学調べ

入院件数	平均入院期間	平均年齢	男女比
76人	2.0月※	13.2歳	男4：女6

※病院の運用により原則3ヶ月以内で退院

子どものこころセンター患者数推移





児童・思春期病棟の機能

児童・思春期病棟の機能

1 整備概要

(1) 建設場所

東温市田窪2119-2

(2) 整備内容

新築工事（鉄骨造3階建） 約2,734㎡

(3) 診療機能

病室は20床（全個室）、外来は週5日（平日）

(4) 院内学級の設置

入院中の学習にも配慮した院内学級を設置し、療育環境の充実を図る。

(5) スケジュール

令和5年7月工事開始、令和6年9月完成、同年11月運用開始（予定）

(6) 総事業費

約15.6億円

2 医療体制

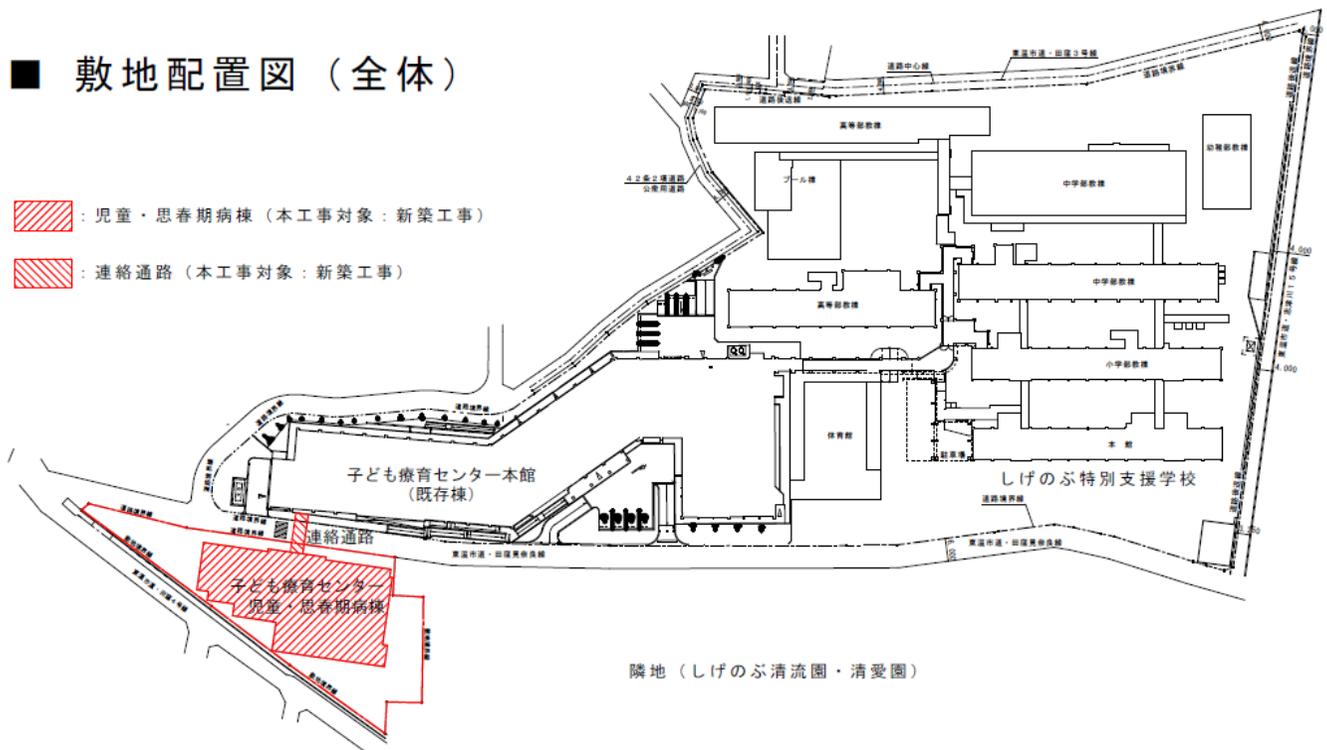
医師3名、看護師20名、精神保健福祉士1名、公認心理師1名、作業療法士1名、管理栄養士1名（予定）



児童・思春期病棟の図面

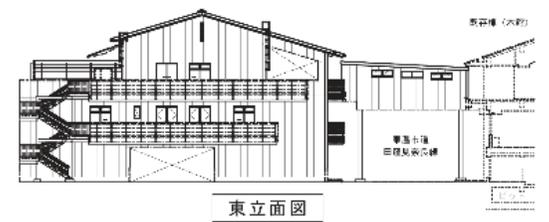
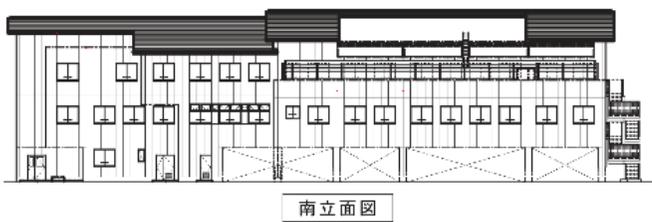
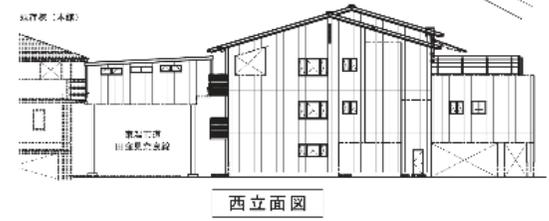
敷地配置図（全体）

-  : 児童・思春期病棟（本工事対象：新築工事）
-  : 連絡通路（本工事対象：新築工事）



隣地（しげのぶ清流園・清愛園）

立面図



児童・思春期病棟のイメージ



エントランス



食堂・デイルーム及びスタッフルーム



食堂・デイルーム



屋内プレイルーム